

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴	
採卵鶏専業 65000羽	2 人	65,000 羽	1. 飼育は低床ウインドレス式、ケージ飼育 2. 飼料給与は自動給餌機利用 3. 光線管理(LED照明)による生産性向上 4. 集卵は自動集卵装置を装備 5. 洗卵、選別はGPセンターで実施 6. クーリングパッド利用 7. 誘導換羽による採卵期間延長 8. 雇用導入あり(2人)	
経営目標	1 農業総収入 2 農業経営費 3 農業所得	225,973 千円 214,921 千円 11,052 千円	4 1日当たり農業所得 5 1人当たり年間労働時間	43,600 円 1,830 時間
飼育方式と畜舎施設		技術指標		
・飼育方式 (成鶏 8 群) ウインドレス ・鶏舎及び付帯施設 大雑舎 育雛舎 集卵舎 鶏糞発酵処理施設 (回行型攪拌式)		1、初生雛導入(年) 38,082 羽 (添え雛 1,142 羽含む) 2、雛育成率 97% 3、成鶏編入週齢 21 週齢 (141 日齢) ※鶏舎移動は 17 週齢 (121 日齢) 4、成鶏更新週齢 103 週齢 (724 日齢) 5、成鶏期間 19.2 か月 (583 日) 誘導換羽あり 6、成鶏舎占有期間 623 日間 7、成鶏期年間へい死率 3% 8、成鶏更新率 58.6% 9、成鶏一羽当たり産卵日量 53 g 10、平均卵重 62.6 g 11、年間平均産卵率 84% 12、正常卵率 90% 格外卵率 9.5% 廃棄卵率 0.5% 13、飼料要求率(成鶏) 1.90		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	法定耐用年数	年間償却額
					千円	年	千円
建物・施設	成鶏舎	1	木造ウインドレス(8棟) 2653㎡	1	79,590	17	4,682
	大すう舎	2	木造低床式(2棟) 478㎡	1	14,340	17	844
	中すう舎	1	木造ガルバリウム 177㎡	1	5,310	17	312
	幼すう舎	1	木造ガルバリウム 177㎡	1	5,310	17	312
	堆肥舎	1	木造(開放・攪拌) 592㎡	1	14,800	17	871
	集卵舎	1	木造 174㎡	1	5,220	17	307
	計				124,570		7,328
農機具	成鶏自動給餌機	24	3台/棟	1	8,474	7	1,211
	成鶏飼料搬送機	8	1台/棟	1	1,866	7	267
	集卵設備	48	6台/棟	1	21,067	7	3,010
	成鶏給水設備	8	1施設/棟	1	7,282	7	1,040
	育すう・大すう舎自動給餌機	3	2施設/棟	1	1,059	7	151
	育すう・大すう舎飼料搬送機	3	3台/棟	1	700	7	100
	育すう・大すう舎給水設備	3	4施設/棟	1	2,731	7	390
	付帯施設	1		1	104,550	7	14,936
	フォークリフト	1		1	1,268	7	181
	ショベルローダー	1	0.5㎡	1	1,500	7	214
トラック	1	2t	1	2,660	5	532	
鶏糞攪拌機	1		1	5,596	7	799	
動力噴霧器	2		1	300	7	43	
発電機	1	100kw	1	2,500	7	357	
計				161,553		23,231	
総計				286,123		30,559	

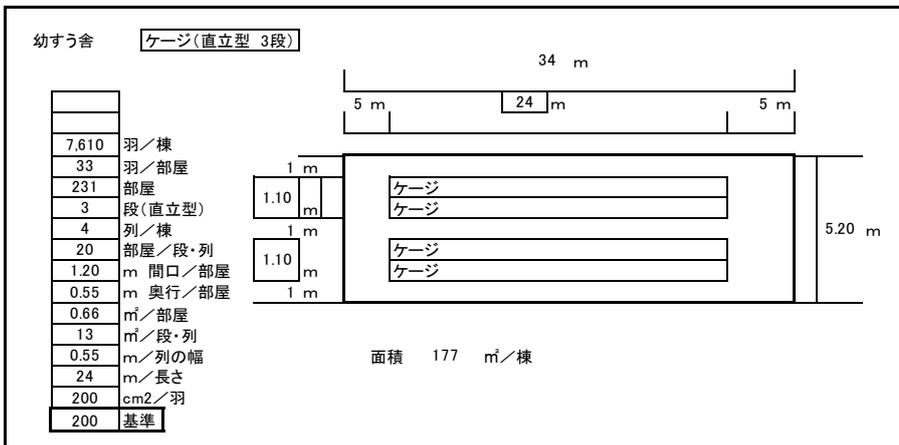
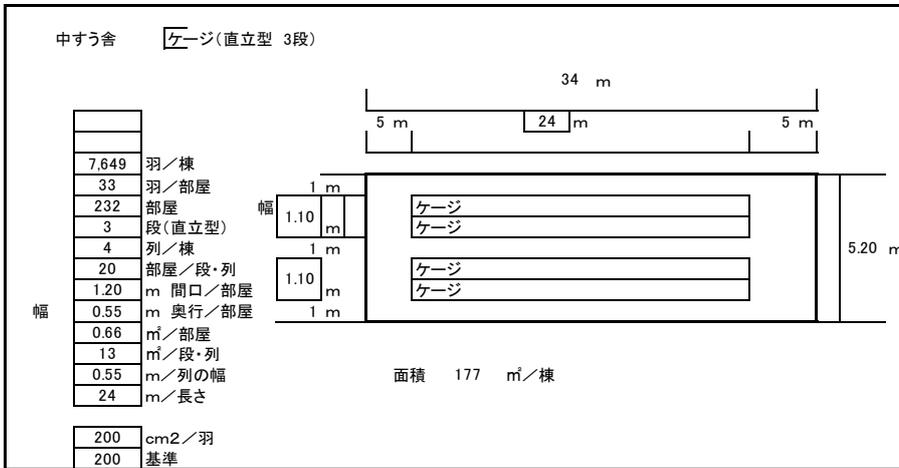
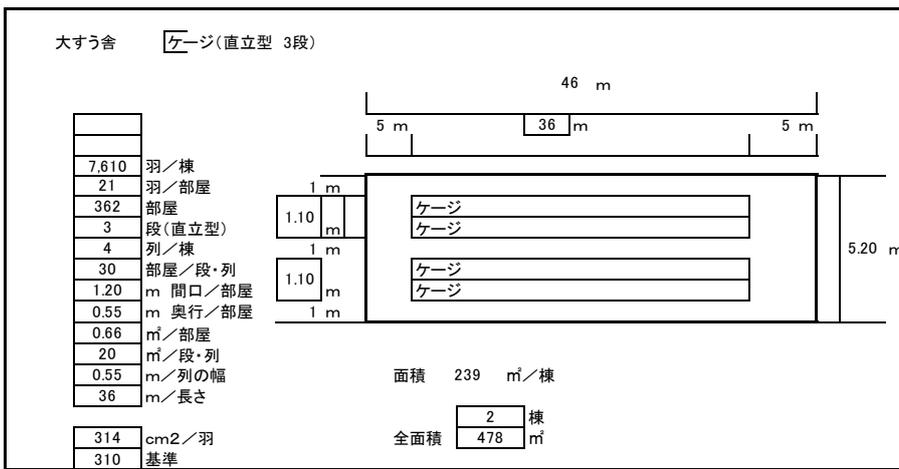
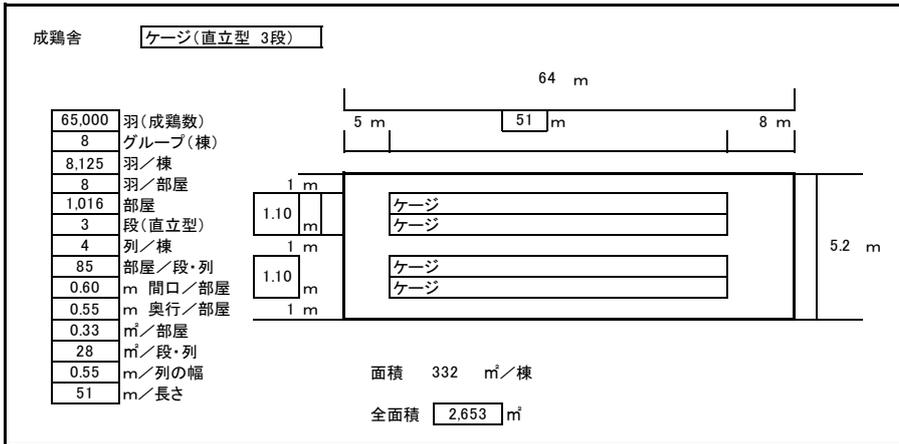
耐用年数は、農畜産業用固定資産評価標準(畜産に係る主なものの耐用年数、平成20年)による。

1/2補助事業の活用(トラックは資金対応)

3. 畜舎及び付帯施設算出基礎

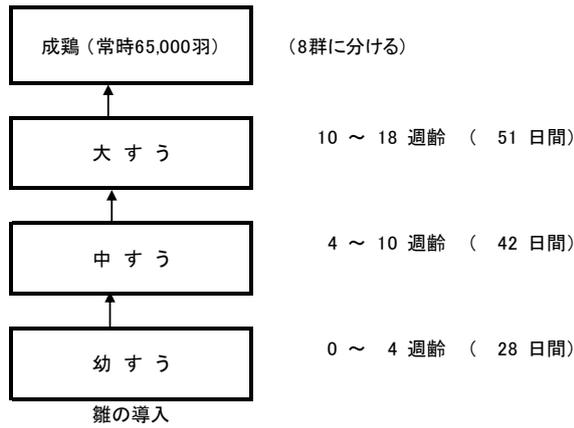
区分	構造・形式	規模	算出基礎
成鶏舎	低床ウインドレス式 (ガルバリウム)	2,653㎡	5.2m×52m×8棟(6,250羽/棟) ケージ直立3段、2列 別添図面
大すう舎	木造ガルバリウム(2棟)	478㎡	5.2m×46m×2棟 18週齢まで密度310cm ² /羽 3段直立ケージ、2段 別添図面
中すう舎	木造ガルバリウム(1棟)	177㎡	5.2m×33m×1棟 10週齢まで密度200cm ² /羽 3段直立ケージ、2段 別添図面
幼すう舎	木造ガルバリウム(1棟)	177㎡	5.2m×33m×1棟 10週齢まで密度200cm ² /羽 3段直立ケージ、2段 別添図面
発酵処理施設	木造ポリカーボネート (透明)(攪拌型) 木造ガルバリウム	582㎡	発酵施設550㎡(堆積高1m) ストックヤード32㎡(堆積高1.5m)
集卵舎	木造	174㎡	6m×29m
飼料タンク	FRP (飼料会社無償提供)	3t 3基 5t 6基 7t 16基	中雛用 大雛用 成鶏用

鶏舎



4-1. 技術体系

1) 飼養フローチャート



(2) 飼養羽数

区分	羽数	算出方法
採卵鶏	65,000羽	
大雛	7,610羽	導入羽数 39,224 ÷ 5 回/年 × 97.0% (育成率)
中雛	7,649羽	導入羽数 39,224 ÷ 5 回/年 × 97.5% (育成率)
幼雛	7,688羽	導入羽数 39,224 ÷ 5 回/年 × 98.0% (育成率)

誘導換羽によるひな導入回数の減

更新率 $365日 \div 成鶏占有期間(成鶏飼育期間 + 空舎期間)$
 $365日 \div 623日 = 59\%$

導入間隔 $成鶏占有期間 \div 8群$
 $623日間 \div 8群 = 78日間$

導入回数 $365日 \div 導入間隔$
 $365日 \div 78日 = 5回/年$

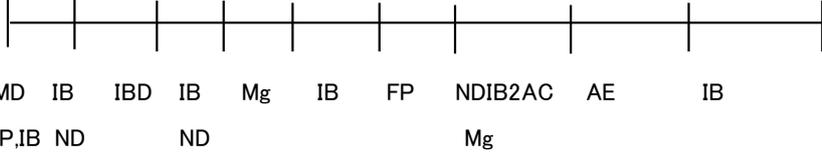
4-2. 技術体系

作業の種類	技術項目	技術上の重点事項
導入品種	1、計画導入 2、品種	(1)衛生管理(サルモネラ対策等)の徹底しているふ化場の選定 (1)採卵鶏専用種
飼育密度	1、成鶏 2、大すう 3、育すう	(1)1ケージ(60cm×55cm)に8羽収容(24羽/㎡) (1)1ケージ(120cm×55cm)に8羽収容(32羽/㎡) (1)1ケージ(120cm×55cm)に8羽収容(50羽/㎡)
管理及び飼料給与	1、幼すう期(～28日齢)の管理 2、飼料給与方法 (環境負荷軽減を考慮し、CPを下げた) アミノ酸配合飼料の利用	(1)温湿度管理 ①鶏舎内温度は20℃に保つ。 ②フィルター下を32～35℃に維持する。 ③毎週約3℃ずつ下げて21日齢で22℃にする。 ④相対湿度を約70%に維持するように給湿皿などを設置する。 (2)換気に努める。 (3)給餌は給餌箱以外に敷紙をして与える。 エネルギーの必要量に応じて摂取量の調整能力があるため、養分摂取量の著しい過不足の恐れはなく、不断給餌にする。 (1)0～4週齢 ①不断給餌 ②飼料成分 CP 19%、 ME 2.9Mcal/kg (2)4(5)～10週齢 ①不断給餌 ②飼料成分 CP 16%、 ME 2.80Mcal/kg (3)10(11)週齢～初産 ①不断給餌 ②飼料成分 CP 13%、 ME 2.7Mcal/kg

4-2. 技術体系

作業の種類	技術項目	技術上の重点事項
		<p>(4)産卵期(141～239日)(日産卵量 56g)の場合</p> <p>①不断給餌</p> <p>②飼料成分 CP 15.5%、 ME2.8Mcal</p> <p>(5)産卵期(240～574日)(日産卵量 49g)の場合</p> <p>①不断給餌</p> <p>②飼料成分 CP 14.3%、 ME2.8Mcal</p> <p>(6)産卵期(誘導換羽)(574～724日)</p> <p>①うち21日間 低濃度換羽飼料(ふすま配合 愛知方式)</p> <p>②採卵 不断給餌 飼料成分 CP 14.3%、 ME2.8Mcal</p>
光線管理	<p>1、餌付～3週齢</p> <p>2、4～15週齢</p> <p>3、15週齢～</p> <p>4、成鶏期</p>	<p>光線管理が、産卵量に影響を与えるので、明るさや時期および時間に留意する。LED電球を使用する。</p> <p>(1)20ルクスから10ルクスに斬減</p> <p>(2)22時間から16時間点灯に斬減</p> <p>(1)5ルクス</p> <p>(2)10～12時間点灯</p> <p>(1)5ルクスから10ルクスに増加する。</p> <p>(2)1時間増加し、11～13時間点灯 1週間で15分、4週かけ増加していく。</p> <p>(1)14～16時間点灯</p> <p>(2)照度 8ルクス</p> <p>*照度の計算</p> $\text{ルクス} = \frac{\text{LEDの電球W相当} \times 0.9}{\text{電球からの距離(m)の2乗}}$ <p>照度は条件により変わるため、必ず照度計で確認する。</p>
一般管理	<p>1、デビーク(断嘴)</p> <p>2、給水方法</p> <p>3、ビタミン剤の投与</p> <p>4、夏季の防暑対策</p>	<p>(1)5～9日齢で行い、止血を十分に行う。</p> <p>(2)切断浅いと再デビークになるが、その際は中すう期に実施</p> <p>(1)ニップル式による自由飲水</p> <p>(1)鶏舎移動の前後にはビタミン(A,D,E,K)剤を3日間飲水投与</p> <p>(1)クーリングパッドによる空冷</p> <p>(2)屋根の断熱および散水</p> <p>(2)屋根の断熱および散水</p>

4-2. 技術体系

作業の種類	技術項目	技術上の重点事項
<p>予防衛生</p>	<p>1、入雛及び育成鶏導入時の消毒</p> <p>2、日常の衛生管理</p>	<p>(1) 鶏舎内部、育成器具の水洗</p> <p>(2) 鶏糞等の完全除去</p> <p>(3) 2種類以上の消毒剤による鶏舎内の洗浄・消毒</p> <p>(1) 鶏舎ごとの踏込み消毒槽設置</p> <p>(2) 死亡鶏の搬出、異常鶏の淘汰</p> <p>(3) ネズミ・ハエ・クモ等の駆除</p> <p>(4) 野鳥等の野生動物の鶏舎、飼料保管庫、堆肥舎、死体保管庫等の侵入防止</p>
	<p>3、各種ワクチネーションの実施</p> <p>ワクチンプログラム(例)</p> <p>0 14 20 28 30 40 40~80 60~80 50~90 100日齢</p>  <p>MD IB IBD IB Mg IB FP ND IB2AC AE IB</p> <p>FP, IB ND ND Mg</p> <p>略字注釈</p> <p>MD: マレック病 FP: 鶏痘 IB: 伝染性気管支炎 ND: ニューカッスル病</p> <p>Mg: マイコプラズマガリセプチカム感染症 A・C: 鶏伝染性コリーザ(A・C型)</p> <p>IBD: 伝染性ファブリキウス嚢病 AE: 鶏脳脊髄炎</p>	
<p>環境及び食の安全安心対策</p>	<p>1、鶏舎環境の整備</p> <p>2、ふんの適正利用促進</p> <p>3、安全安心のための管理</p>	<p>(1) 鶏舎周辺の環境整備と美化</p> <p>(2) 鶏舎の清潔(飲水の漏水防止)、乾燥、換気</p> <p>(3) 鶏舎の定期消毒</p> <p>(1) ふんの適正処理</p> <p>(2) 畜舎、堆肥舎等からのふん流出防止の徹底</p> <p>(3) 「農業環境規範(家畜の飼養・生産)」での確認、記帳</p> <p>(1) 管理、記帳の徹底</p> <p>(2) 農業環境規範(家畜の飼養・生産)の確認、記帳</p> <p>(3) 飼養衛生管理基準の徹底</p> <p>(4) 飼料添加剤、医薬品等の適正管理</p> <p>(5) アニマルウェルフェアの考え方に基づく飼養管理</p>

5. 作業別・月旬別労働時間

採卵鶏専業経営者/月	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202		202
青雞給餌・給水	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	
成鶏給餌・給水	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	
集卵	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	
出荷	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	
清掃・消毒	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	
衛生管理	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	
鶏導入・出荷	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
防疫・処理	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	
記帳管理	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
その他	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
計	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	
旬計	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	20.2	7,360
月計	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	625	7,360

6. 総労働時間

総労働時間	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202		202
うち家族労働	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	3,600
うち雇用労働	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	3,600